

19.11.19

# 海軍公報 第四八五六號

昭和十九年十一月十九日(日)  
海軍大臣官房

## ○令 達

### 官房需第二七四號

海軍戰時特例給與規則第九條又ハ海軍工員戰時特例給與規則第二十九條ノ規定ニ依リ給與スル糧食ハ給與ノ都度領收證ヲ徴シ供給拂トシテ之ヲ整理スルコトヲ得

本令ハ海軍戰時特例給與規則關係ニ付テハ昭和十九年九月一日海軍工員戰時特例給與規則關係ニ付テハ同年十月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

昭和十九年官房需第六一號ハ本令適用ノ日ヨリ其ノ適用ヲ停止ス  
昭和十九年十一月十七日  
海軍大臣

(參照) 海軍戰時特例給與規則 海軍機密會計法規類集二三頁  
海軍工員戰時特例給與規則 昭和一九、二〇、二一八秘海軍公報  
昭和十九年官房需第六一號 海軍會計法規類集二卷八〇八  
ノ一四頁

## ○通 牒

### 軍需衣第一三三號

昭和十九年十一月十八日

## 關係各廳御中

海軍省軍需局  
海軍省經理局

兵員用毛布ノ補足ニ關スル件通知

兵員用毛布ノ需給極メテ窮迫セル實情ニ鑑ミ本年冬期ニ於ケル應急策トシテ防寒藁ヲ併用ノコトトシ之ヲ製作ニ要スル藁ノ確保方手配致置候條左記ニ依リ各部隊毎ニ實施相成度

記

一 藁ノ取得

(イ) 藁ノ供出方ニ關シテハ既ニ農商省總務局ヨリ各地方行政協議會及各府縣ニ對シ通牒済ナレドモ各地方ハ其ノ統制事情ヲ異ニスル實情ニ在リ

(ロ) 依ツテ藁所要ノ部隊ニ於テハ前項通牒済ノ旨ヲ含ミ置キ先以テ附近農村又ハ統制團體ニ直接交渉ヲ爲シ買入可能ノ場合ハ其ノ運搬等ニ付協力ノ上之ヲ部隊ニ於テ直接購買ヲ爲スモノトス

(ハ) 附近農村又ハ統制團體等ニ於テ買入不能ノ場合ハ部隊ハ其ノ所要量及交渉ノ經過等ヲ所管軍需部ニ通知シ所管軍需部ハ之ガ入手ニ關シ關係各府縣等ニ對シ連絡ノ上必要ノ斡旋ヲ爲シタル上部隊ヲシテ直接購買ヲ爲サシムルモノト

秘海軍公報 第四八五六號 昭和十九年十一月十九日

0330

ス(各軍需部ニハ別ニ指示ス)

二 藁蕨ノ製作

(イ) 藁蕨ハ兵員ノ手ニテ製作スルカ又ハ地方ニ於ケル加工業者ヲシテ製作セシムルコトトシ製作ニ要スル糸類ハ出來得ル限り部隊ニテ廢品等ヲ利用スルコトトシ要スレバ軍需部ヨリ受入ルルコト

三 藁蕨製作要領 別紙ノ通

所要經費

四 藁蕨大代及藁蕨加工費ハ臨時軍事費、衣糧費、被服費支辨トス

(イ) 買入レタル藁ハ「稻藁(被服物品材料品)」トシ之ヲ以テ生産セル藁ハ「防塞藁(被服物品貸與品)」トシテ受拂ノ整理ヲ爲スコト

(ロ) 本品ヲ購買セル各部隊ハ其ノ品名、數量、單價、金額竝ニ買入製作ノ概況等ヲ海軍省軍需局及所管軍需部ニ通報ノコト

(別紙添)

○ 雜 款

○ 旗艦變更

第五戰隊司令官ハ十月二十四日旗艦ヲ羽黒ニ變更セリ

○ 閉隊

第三千十三設營隊ハ十月十五日横濱市戸塚區中田町横施教導營班内ニ閉隊セリ

○ 事務所撤去

第三千十三設營隊設立事務所ハ十一月一日之ヲ撤去セリ

○ 部隊移轉

當隊十一月六日茨城縣神ノ池航空基地ニ移轉セリ  
進テ當隊ヘノ轉勤赴任者ニ對スル家族移轉料支給上ノ勤務地ハ横須賀市ナリ爲念

(第三千十三設營隊)

○ 集會所設置

佐世保水交社福岡集會所ヲ昭和十九年十一月十日附福岡海軍航空隊内ニ設置セリ

(佐世保水交社)

○ 正誤

十月三十日秘海軍公報第四八三八號通牒欄戰死囑託者、雇員及傭人ノ待遇付與竝ニ報酬又ハ給料ノ増額又ハ増給ニ關スル件通牒中「海軍戰時特例給與規則第二十二條及昭和十八年官房經機密第四一二號第三條乃至第六條ノ四」ハ「海軍戰時特例給與規則第二十一條」ノ誤(海軍省經理局)

○ 本日軍極秘海軍公報第三五號(甲配付)發行セリ

○ 本日海軍公報發行セズ

0331

(軍需衣第二三號別紙)

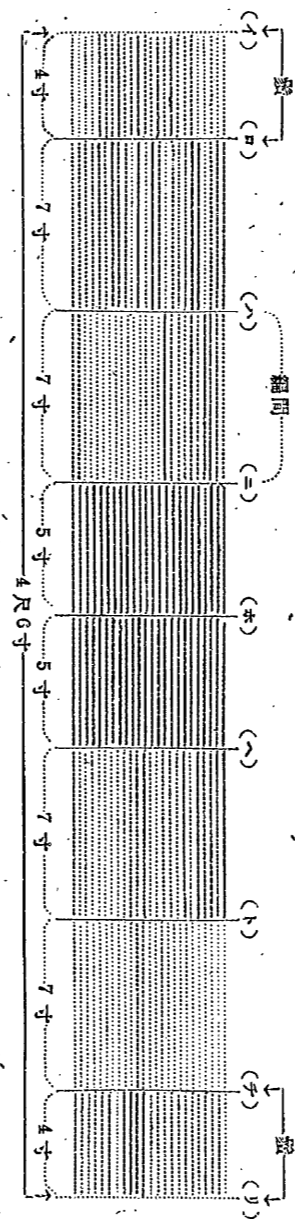
一 防寒蓑製作要領

防寒蓑ハ柔軟乾燥セル選葉ヲ用ヒ帆縫絲又ハ強キ實子繩(四本子、五本子)ヲ以テ七個所編トシ、編間及兩端綴ノ長サ

(イ)四寸「約二・一纏」(ロ)七寸「約二・一纏」(ハ)七寸「約二・一纏」(ニ)五寸「約一・五・一纏」(ホ)五寸「約一・五・一纏」(ヘ)七寸「約二・一纏」(ト)七寸「約二・一纏」(チ)四寸「約二・一纏」トシ編數三十八以上編上リ二尺四寸乃至二尺五寸(約七二・七纏乃至約七五・八纏)重址一貫六〇〇外乃至一貫八〇〇外(約五疋乃至約六・七疋)トス

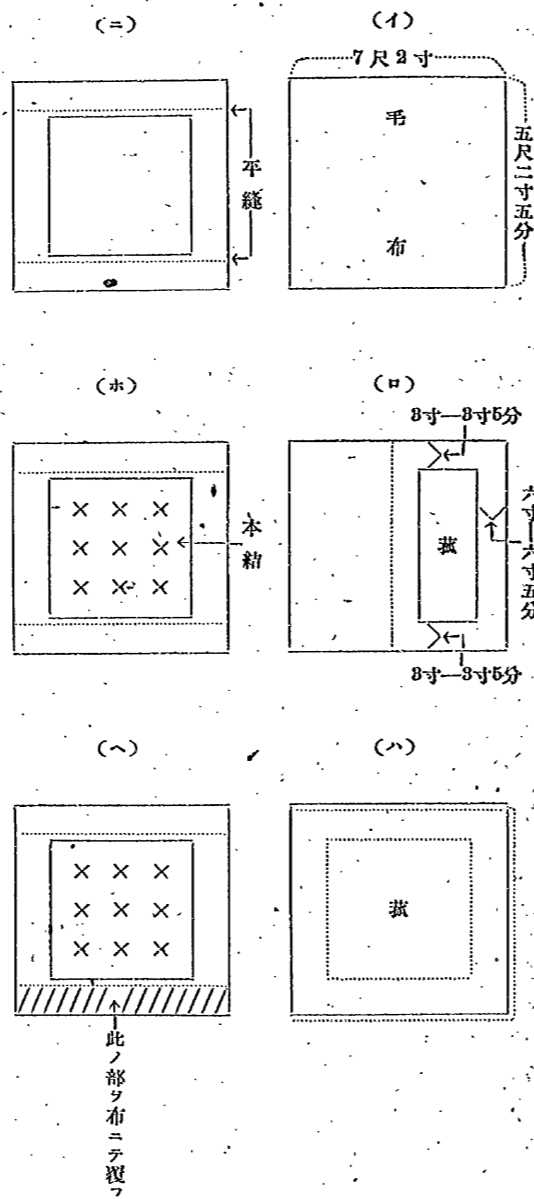
(底) 蓑

(昭和十九年十一月十九日秘海軍公報)



二 防寒蒲團製作要領

- (イ) 圖ノ如ク毛布ヲ伸ス
- (ロ) 圖ノ如ク毛布ノ上ニ蓑ヲ敷ク
- (ハ) 圖ノ如ク蓑ノ上ニ毛布ヲ掛ケル
- (ニ) 圖ノ如ク毛布(蓑兩鬚下)ヲ平縫ス
- (ホ) 圖ノ如ク九個所乃至一二個所毛布ヲ綴込ミ本結トス
- (ヘ) 圖ノ如ク手拭又ハ布ヲ以テ覆フ
- (ト) 圖ノ如ク毛布ノ上ニ蓑ヲ敷ク





# 海軍公報 第四八五七號

昭和十九年十一月二十日(月)  
海軍大臣官房

## ○令 達

内令第一二六七號

右本籍ヲ吳鎮守府卜定ム

第二百二十六號驅潛特務艇

右本籍ヲ鎮海警備府卜定ム

第二百四十九號驅潛特務艇

昭和十九年十一月十四日

海軍大臣

内令第一二六八號

昭和十八年内令第一八三三號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年十一月十四日

海軍大臣

佐伯防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第二百二十二號(吳)」ノ次ニ

「第二百二十六號(吳)」ヲ加フ

鎮海防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第二百四十八號(鎮)」ノ次ニ

「第二百四十九號(鎮)」ヲ加フ

(内令提要卷三、四八ノ一九頁参照)

内令第一二六九號

特務艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十九年十一月十五日

海軍大臣

特務艇、魚雷艇第四百六十九號型ノ項中「第八百八號」、第八百二十四號、第八百二十七號、第八百二十八號」ヲ削リ同末尾ノ項中「第百十八號」ノ下ニ「第百十九號、第百二十號」ヲ加フ

(内令提要卷三、四三頁参照)

内令第一二七〇號(軍機秘海軍公報第三六號(乙配付)ニ掲載)

内令第一二七一號

驅逐隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十九年十一月十五日

海軍大臣

第二驅逐隊ノ項中「清霜」ノ下ニ「朝霜」ヲ加フ

第七驅逐隊ノ項中「潮」ノ下ニ「霞」ヲ加フ

第十八驅逐隊ノ項ヲ削ル

第二十一驅逐隊ノ項中「初春、初霜、若葉」ヲ「初春、初霜、時雨」ニ改ム

秘海軍公報 第四八五七號 昭和十九年十一月二十日

一五二三

0333

第三十一驅逐隊ノ項中「長波、朝霜、岸波、沖波」ヲ「長波、岸波、沖波、濱波」ニ改ム

第三十二驅逐隊ノ項ヲ削ル

第四十一驅逐隊ノ項中「冬月」ノ下ニ「涼月、若月」ヲ加フ

第四十三驅逐隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第五十二驅逐隊 桑、檜、樺、杉、檜

第六十一驅逐隊ノ項ヲ削ル

(内令提要卷一、六八頁参照)

内令第一二七二號

海防隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十九年十一月十五日

海軍大臣

第二十一海防隊ノ項中「笠戸」ノ下ニ「生名」ヲ加フ

(内令提要卷一、七二頁参照)

官房經機密第一七九二號

大東亞戰爭中雇員傭人規則第十九條第二項ノ規定ニ依ル雇員及傭人ノ身分變更通報分之ヲ省略スルコトヲ得

昭和十九年十一月十八日

海軍大臣

官房需第二七五號

當分ノ間艦船(特設艦船ヲ含ム)乗組ノ見張員ニハ昭和十八年

官房需第二〇九號ニ依ルノ外左記ニ依リ糧食ヲ増給スルコトヲ得

昭和十九年十一月十九日

海軍大臣

品名	種目	額	記	事
ビタミン(A)食	一瓦			
特種榮養食	五〇			
備	一 本表ノ量額ハ最上限ノ給額ヲ示ス 二 本表ノビタミン(A)食ノ増給ヲ受クル者ニハ昭和十八年官房需第二〇九號ニ依ルビタミン(A)食ヲ給與セズ			
考	(参照) 海軍會計法規類集二卷三三〇ノ二ノ二頁			

○雜 款

○變更

十月一日附秘海軍公報合同海軍葬儀執行時刻譚岡地方海軍人事部ノ部「一三〇〇」ヲ「一一三〇」ニ變更

○本日軍極秘海軍公報第三六號(乙配付)發行セリ  
配付先 各司令部、各航空隊、各航空廠、同支廠、航空技術廠、同支廠

○本日海軍公報發行セズ

秘

# 海軍公報 第四八五八號

昭和十九年十一月二十一日(火)  
海軍大臣官房

## ○令 達

内令第一二七三號

右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト定メラル

呂號第五十六潛水艦

横須賀鎮守府警備海防艦

第三十七號海防艦

右練習海防艦ト定メラル

昭和十九年十一月十五日

海軍大臣

内令第一二七四號

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定ム

昭和十九年十一月十五日

第一百十九號魚雷艇

第二百十號魚雷艇

海軍大臣

内令第一二七五號

昭和十八年内令第一八三三號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年十一月十五日

海軍大臣

第一機動艦隊ノ項ヲ削ル

第二十一特別根據地隊ノ項魚雷艇ノ欄ニ「第一百十九號(佐)、第  
百二十號(佐)」ヲ加フ

(内令提要卷三、四八ノ一九頁参照)

内令第一二七六號

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メタル處之ヲ解ク

昭和十九年十一月十五日

第八百八號魚雷艇

第八百二十四號魚雷艇

第八百二十七號魚雷艇

第八百二十八號魚雷艇

海軍大臣

官房人機密第一九六〇號

所屬長官ハ十二月一日現在員(特ニ指定スル者ヲ除ク)ニ付左  
記標準ニ依リ年末賞與ヲ支給スベシ但シ本年十一月月中ニ召集解  
除、現役滿期又ハ服役延期解止ノ海軍軍人並ニ入營ノ爲休職、休  
解雇又ハ解雇ノ文官、雇員及傭人ニ對シテモ召集解除、退團、休  
職、解雇又ハ解雇ノ日現在ヲ以テ年末賞與ヲ支給スルコトヲ得

昭和十九年十一月十九日

海軍大臣

秘海軍公報 第四八五八號 昭和十九年十一月二十一日

一五二五

0335

記

海軍大臣

區分	賞與額(本俸又ハ給料ニ付)		
	扶養家族ナキ者	同三人以内ノ者	同四人以上ノ者
士官、特務士官、候補士官、見習尉官、高等文官、見習文官、勅任文官、待遇職者及勅任文官、待遇職者	三・八月分以内	五・〇月分以内	五・五月分以内
准士官、下士官、判任文官、待遇職者、判任官、待遇職者、無待遇職者、職員及傭人(月給考)	四・三月分以内	五・五月分以内	六・〇月分以内
職員及傭人(日給考)	二・九日分以内	一・六日分以内	一・八〇日分以内
兵長	二・五月分以内		
上等兵	二・〇月分以内		
一等兵	本年八月一日以降海軍ニ入團又ハ入隊等ノ者ヲ除ク		

- 考
- 一 本賞與ノ期間ヲ本年七月一日ヨリ同十二月一日迄トス
  - 二 扶養家族ノ範圍ハ海軍臨時家族手当支給規則第三條所定ニ準ズ
  - 三 喫託者中一時ノ報酬ヲ受クル者及本官アル者ニ對シテハ支給セザルモノトス

官房機密第一七九四號  
大東亞戰爭中海軍施設部ニ保有スル機械、器具ヲ部外ニ貸與スルコトヲ要スル場合ハ海軍施設本部長之ヲ處理スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ貸與シタルモノニ付テハ毎年十二月末ニ於テ其ノ現況ヲ報告スルモノトス  
昭和十九年十一月十九日  
海軍大臣

官房第一二七三號  
三菱重工株式會社下關造船所ニ於テ建造中ノ救難船兼曳船三隻ヲ雜役船ニ編入シ其ノ船種、船名、所屬等ヲ左ノ通定ム  
昭和十九年十一月二十日  
海軍大臣

船種	船名	所屬	定數別	記事
救難船兼曳船(八百噸)	三浦	橫須賀海軍港務部	定數補充	
同	弓張	佐世保海軍港務部	同	
同	花鳥	高雄海軍港務部	同	

○通牒

官房機密第一三四號ノ一八  
昭和十九年十一月十五日

海軍省副官

關係各廳長殿  
暗號圖書配給及處分ニ關スル件申進  
首題ノ件ニ關シテハ別ニ特令セラルルモノヲ除キ別冊暗號圖書

0336

現狀表第四〇號ニ依リ處理相成度

(別冊ハ所要ノ向ニノミ之ヲ配付ス)

兵備ニ機密第二二〇二號

昭和十九年十一月二十一日

海軍省兵備局長

關係各廳長殿

海軍電力調整事務處理ニ關スル件申進

海軍電力調整事務處理要領別冊ノ通改正相成昭和十九年十二月

一日ヨリ實施ノコトニ定メラレ候條可然取計相成度

尙部外關係ノ向ニ對シテハ關係各廳長ニ於テ必要ニ際シ本

要領ニ據リ指導方可然配意相成度

(別冊配付先)

部内 各鎮守府各警備府ニ一括送付關係廳ニ配付

部外 中央主務部局ヨリ海軍ニ於テ直接電力ヲ担当スル工

場、事業場ニ配付

海人三機密第一〇號ノ七六

昭和十九年十一月十九日

海軍省人事局長  
海軍省經理局長

關係各廳長殿

本年年末賞與支給ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シテハ本年海人三機密第一〇號ノ四二ニ依ルノ外

左記ニ依リ取扱フモノト了知相成度

記

一 各省(廳)職員トシテ專任セラレタル定員外海軍武官ニシテ本年十一月三十日以前海軍ニ復歸シタルモノニ對シテハ其ノ勤務期間ヲ海軍ニ於ケル勤務期間ニ通算シ算出シタル金額ヲ現所屬廳ニ於テ支給ス

二 昭和十六年勅令第二百四號ニ依リ部外ノ文官同待遇者ヨリ海軍文官同待遇者ニ轉官職セシメラレタル者及明治三十八年勅令第四十三號ニ依リ所屬官廳ノ定員外ト爲リ海軍ニ勤務セシメラレタル者等(以下臨時職員ト稱ス)ニ對シテハ左ニ依ルモノトス

(イ) 十一月三十日現在ニ於テ臨時職員タリシ者ニ對シテハ本賞與ノ全期間勤務セシモノト看做シ其ノ賞與金金額ヲ支給ス

(ロ) 十一月三十日以前海軍ヨリ轉出スル臨時職員及十二月一日以後臨時職員トシテ海軍ニ轉入シ來レル者ニ對シテハ支給セズ

三 前各號ニ該當スル者ノ中十一月三十日附發令ノ者ニ對シテハ新所屬省(廳)ニ於テ夫々其ノ賞與金金額ヲ支給スルモノトス

○ 雜 款

秘海軍公報 第四八五八號

昭和十九年十一月二十一日

一五一七

0337



○閉隊  
徳山警備隊（舊吳海軍警備隊徳山支隊）ハ十月二十日山口縣徳山市ニ閉隊セリ

○事務開始  
第百十八號海防艦艇員事務所ヲ十一月十二日大阪府泉南郡多奈川町谷川二六七四川崎重工業株式會社泉州工場内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去  
伊號第三百七十二潜水艦艇員事務所ハ十一月八日之ヲ撤去セリ  
第十二號輸送艦艇員事務所ハ十一月十一日之ヲ撤去セリ

○正誤  
十月十六日秘海軍公報第四八二八號令遺欄海軍徵備船員給與規則中改正第十二條ノ四中「最初ノ三十日間」ノ上ニ「三月ヲ超ユル」ヲ脱ス（海軍省經理局）

○本日軍極秘海軍公報第三七號（甲配付）及同第三八號（乙配付）發行セリ  
第三八號（乙配付）配付先  
各司令部、各海軍人事部、海軍水雷學校、臨時魚雷艇訓練所、第一特別基地隊

0338

秘

# 海軍公報

第四八五九號

昭和十九年十一月二十二日(水)  
海軍大臣官房

## ○令 達

内令第一二八〇號

第四十九號海防艦

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定メラル

横須賀鎮守府在籍

第四十九號海防艦

右警備海防艦ト定メラル

昭和十九年十一月十六日

海軍大臣

内令第一二八一號

緊急戦備促進部規程中左ノ通改正ス

昭和十九年十一月十七日

海軍大臣

別表中部員ノ部「海軍潜水艦部長」ヲ「海軍潜水艦部長」ニ、

軍令部出仕兼海軍省出仕「人」ヲ「適宜」ニ、幹事ノ部「軍

令部第三、四課長」ヲ「軍令部第三、四、十二課長

軍令部戦力補給部總務班長」ニ、幹事

輔佐ノ部「關係局部員」ヲ「關係局部員

(兼任)海軍省軍務局局員一人」

## ニ改ム

(内令提要卷一、二二ノ三頁参照)

内令第一二八二號

海防艦 久 賀

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メラル

昭和十九年十一月十九日

海軍大臣

官房備機密第六四三號

昭和十九年十一月十八日

海軍大臣

●吳鎮守府司令長官  
佐世保鎮守府司令長官  
大阪警備府司令長官 殿

西日本石炭應急輸送協力ノ件訓令

吳鎮守府司令長官ハ左記ニ依リ西日本石炭ノ應急輸送ニ協カス

ベシ

佐世保鎮守府司令長官、大阪警備府司令長官ハ右輸送ニ關シ極

力吳鎮守府司令長官ノ協議ニ應ズベシ

記

秘海軍公報 第四八五九號 昭和十九年十一月二十二日

一五一九

0339

一 目的  
運輸通信省ノ行フ物動物資輸送ニ協力シ主トシテ九州炭山口炭ノ阪神地方向輸送ヲ實施シ以テ決戰時戦力生産ノ確保ヲ期スルニ在リ

二 實施要領

(イ) 成ルベク多數ノ隸下船舶ヲ使用シ九州炭山口炭ノ阪神地方向輸送及其復航ニ於テ適宜重要物資ノ輸送ヲ行フモノトス

(ロ) 石炭輸送ハ船舶ニ依ル直接輸送及曳航式輸送ニ依ル外部外船舶ノ曳航輸送等ニ依リ極力増送ニ務ムルモノトス

(ハ) 狀況許ス限リ部下艦艇ヲシテ右輸送ニ參加セシム

(ニ) 輸送物件及其積地揚地等ニ關シテハ直接廣島、門司、大阪、神戸各海運局長ト連絡スルモノトス

三 實施期間

速ニ着手シ當分ノ間續行スルモノトス

四 報 告

實施經過概要竝ニ所見ヲ隨時報告スルモノトス

官房軍第一二七六號

上海中國造船所ヨリ寄贈ノ通用船一隻ヲ雜役船ニ編入シ其ノ船名、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十九年十一月二十日

海 軍 大 臣

船 名	船 種	所 屬	定 數 別	寄 贈 者
報國第二〇號 (中國號)	傳馬船 (九米)	上海海軍 航空隊	臨時附屬	上海長裕路五一號 中國造船所 代表者 鈴木勝

官房軍第二七六號

昭和十九年官房軍第一四一號申左ノ通改正ス

昭和十九年十一月二十日

海 軍 大 臣

第一號(イ)ノ二ノ次ニ左ノ如ク加フ

(イ)ノ三、第七表ノ二及第八表ノ規定ニ依リ飛行豫科練習生、飛行練習生タル下士官及兵竝ニ軍樂科下士官及兵ニ交付スル袴鈞ハ二個ヲ一個トス

同號(ハ)ノ二ノ次ニ左ノ如ク加フ

(ハ)ノ三、第八十九條ノ規定ニ依リ給スル定數ハ第十二表ノ規定ニ拘ラズ下士官又ハ兵ニ對シテハ略衣袴、略帽、夏襦袢、夏袴下、帶皮、半靴、靴下各一個(組)及臂章一著分ヲ給スルモノトス

第四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

五 書式ノ特例

(イ) 海軍給與令施行細則第二號書式(甲)及第三號書式甲ハ本號ノ規定ニ依リ交付セザル被服物品ノ品名欄ヲ削除シタルモノヲ用フルコトヲ得

附 則

0340

飛行機科練習生、飛行練習生タル下士官及兵並ニ軍樂科下士官及兵ニシテ現ニ榜釣ニ個ヲ所持スルモノハ一個ヲ還納セシムルモノトス

(參照) 昭和十九年官房審第一四一號ハ被服物品交付等ノ特例ナリ  
(會計法規類集二卷二六六ノ二頁)

○ 選 擧

海人機密第一二號ノ一八

昭和十九年十一月二十日

海軍省人事局長

各 廳 長 殿

海軍特務士官及准士官名簿ニ關スル件通牒

海軍特務士官及准士官名簿ハ從來當局ニテ調製セル處昭和十九年度刊行ノ分ヨリ各鎮守府ニ於テ之ヲ調製シ鎮守府所在ノ各海軍需部ヨリ配付ノコトニ定メラレ候條了知相成度  
追テ右取扱ニ關シテハ兵備品外機密圖書トシテ處理セラレ度尙横須賀鎮守府現役特務士官及准士官名簿ヲ除キ他ハ多少發行遲延ノ見込ニ付爲念

航本機密第一四三七九號

昭和十九年十一月二十日

海軍航空本部長

關係各廳長殿

秘海軍公報 第四八五九號 昭和十九年十一月二十二日

ハミルトン式「プロペラ」用調速器改造ニ關スル件通牒

首題ノ件左記ニ依リ實施スベシ

一 目 的

調速器ノ耐久性能並ニ作動ヲ良好ナラシムルニ在リ

二 要改造箇所

調整軸、發條取付軸及ピ底板

三 改造要領

修理ノ都度別冊「改造要領書」ニ據リ實施スルモノトス

四 要改造調速器

別冊「改造要領書」記載ノモノ全部

五 施行廳

空技廠、津工廠、一空廠、二空廠、十一空廠、二十一空廠、二十二空廠、六十一空廠

六 完成期日

昭和二十年三月三十一日

七 改造部品

納入豫定別紙ノ通

八 所要經費

臨時軍時費、臨時軍事費、造船造兵及修理費、造修費(空)支辨トス

(別紙)

0341

發註番號	品名	數量	納入場所	納入期限	受託會社
四發推海 一〇三號	調整軸	六五〇個	空技廠	一九二二	住友金屬
四發推海 一〇三號	發條取付軸	一〇〇〇個	空技廠	二〇、三三	住友金屬
四發推海 一〇三號	底	一〇〇〇個	空技廠	一九二二	田中航空計器

航本機密第一四四四九號

昭和十九年十一月二十一日

海軍航空本部長

- 三式小型射擊照準器補用品定數標準
- 三式小型射擊照準器一型補用品定數標準
- 四式小型射擊照準器補用品定數標準
- 三式一號射擊照準器一型改一定數標準
- 三式一號射擊照準器一型補用品定數標準
- 四式射擊照準器一型補用品定數標準
- 四式射擊照準器二型補用品定數標準
- 右別冊ノ通定ム
- 別冊ハ所要ノ向ニノミ之ヲ配付ス

○雜 款

○試驗問題發送

高等科(第一回)看護術特技章付與銓衡試驗問題  
普通科(第一回) (銓衡試驗期日昭和二十年一月十日)

右十一月十五日左記ノ通發送濟未着又ハ別ニ必要ノ向ハ至急通知相成度

記

一 聯合試驗參加各部ノ分ハ横須賀海軍人事部長宛送付

二 單獨試驗施行ノ所轄ヘハ直送

三 聯合試體參加豫定ノ所轄ニシテ聯合試驗不能ノ向ニ對スル

分トシテ横須賀海軍人事部長宛若干部送付シアリ

(戶塚海軍病院)

○事務所撤去

軍艦酒匂艦裝員事務所ハ十一月十日之ヲ撤去セリ

第六十七號海防艦裝員事務所ハ十一月十二日之ヲ撤去セリ

第二百二十六號驅潛特務艇裝員事務所ハ十一月十四日之ヲ撤去セリ

第四十九號海防艦裝員事務所ハ十一月十六日之ヲ撤去セリ

○本日海軍公報發行セズ

0342

# 海軍公報 第四八六〇號

昭和十九年十一月二十四日(金)  
海軍大臣官房

## ○令 達

内令兵(第八五號)(軍械祕海軍公報第三五號(甲配付)ニ掲載)

内令兵第八七號(軍械祕海軍公報第三七號(甲配付)ニ掲載)

内令兵第八八號

零式信管ノ呼稱ヲ零式時限信管ニ改ム

昭和十九年十一月二十二日

海軍大臣

官房需第二七八號

大東亞戰爭中小笠原諸島、伊豆諸島及南西諸島ニ在ル陸上部隊ニ勤務スル者ニハ昭和十八年官房需第二〇九號別表第一備考第七號ノ規定ニ拘ラス同表ニ依ル熱寒地及戰時増加食ヲ給與スルコトヲ得

昭和十九年官房需第二一二號ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年十一月二十一日

海軍大臣

(參照)官房需第二〇九號 海軍會計法規類集二卷三〇ノ二ノ二頁  
官房需第二一二號 昭和一九、八、二七祕海軍公報

## ○通 牒

官房需第二七九號

昭和十九年十一月二十一日

海軍次官

關係所屬長官殿

玄米食ニ關スル件申進

玄米食ニ就テハ昨年八月官房需第一七六號訓令ニ據ル實驗ノ結果ニ基キ糲ニ兵食研究調査委員會ノ審議ヲ經、海軍トシテハ玄米食ニ依ルヲ立前トセズ特殊ノ場合所屬長官又ハ所在最高指揮官ノ認許ヲ受ケテ玄米ヲ使用シ得ルコトニ定メラレ候  
尙詳細ニ關シテハ主務局長ヨリ別途通知可致候

海人三機密第二號ノ九九

昭和十九年十一月二十一日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

海軍武官任用銓衡等ノ際兵役關係調査ノ件通牒

陸軍武官ノ身分(豫備役、國民兵役又ハ退役ノモノヲ含ム)ヲ有スル者ハ原則トシテ海軍武官ニ任用シ又ハ海軍ノ見習尉官若ハ豫備員候補者ニ採用セラレザル方針ニ付海軍武官候補者ノ選

祕海軍公報 第四八六〇號 昭和十九年十一月二十四日

一五二三

0343

拔、銓衡等ニ際シテハ兵役關係(役種及官等等級)ニ付遺漏無ク調査相成度

軍需糧第一六一號

昭和十九年十一月二十三日

海軍省軍需局長  
海軍省醫務局長

關係各廳長殿

玄米食ニ關スル件通知

玄米食ノ問題ハ各方面ニ於テ極メテ重大視サレ各種ノ施策又ハ宣傳行ハレ居ル處海軍トシテハ信賴スルニ足ルベキ科學的根據無カリシ爲昨年八月官房需第一七六號訓令ヲ以テ海軍自體ニ於テ之ヲ基礎的試驗ヲ實施セラレタル結果次官申進ノ通決定セラレタルニ付別紙兵食研究調査委員會審議報告(摘要)參照可然處理相成度

(別紙)

兵食研究調査委員會審議報告(摘要)

(昭和十九年九月六日)

審議概要

(イ) 玄米食ノ採否

(一) 榮養素ノ消化吸収ニ就テ  
玄米ハ物自體トシテハ精白米或ハ歩搗米ニ比シ榮養價高キコト勿論ナルモ今次ノ各試驗報告ヲ綜合スルニ玄米食採否決定上最重要點タル三大榮養素ノ消化吸収ハ現行主

食(三步搗米及精麥)ニ比シ各榮養素共吸收率ニ於テハ稍遜色アリ吸收實量ノ總カロリニ於テハ殆ンド差異ナシ依テ玄米食ノ採用ハ此ノ點ニ於テ有利ナラズ但シピクミンB<sub>1</sub>ニ關シテハ玄米食ハ現行主食ニ比シ其ノ含有量吸收量共ニ大ナリ

(二) 嗜好ニ就テ

嗜好ノ點ニ就テハ各種ノ觀方アリテ本調査ノ結果ヲ以テ直ニ判斷スルコトハ早計ナルモ調査成績ハ一應別表(一)ノ如ク不味トナスモノ多シ

(三) 保健衛生ニ就テ

保健衛生ニ就テハ成績別表(一)ノ通ニシテ玄米食ノ成績ハ良好ト謂ヒ得ザルモ此ノ點ニ關シテハ尙檢討ノ餘地ヲ存スルモノト認ム但シ今後航空員益々激増シ且飛行高度彌増加スル趨勢ニ鑑ミ玄米食ガ地上ニ於テサヘモ腹部膨滿感ヲ伴フノ事實ハ慎重ニ考慮ノ要アリ

(註)

高度飛行ニ於テハ特ニ腹部膨滿感強ク遂ニ苦痛ヲ生ズルニ至ルヲ以テ特ニ消化良好ナル食事ヲナシムル要アリ

(四) 烹炊作業等ニ就テ

玄米食ノ烹炊ニ就テハ現在ノ炊飯方法ヲ以テシテハ三步搗米ニ比シ約二倍ノ烹炊時間ト燃料ヲ要シ之ニ伴ヒテ施設ノ擴張竝ニ作業員ノ増置等ノ問題ヲ惹起スルコト別表

(一)ノ示ス通エシテ現情ニ鑑ミ一般ニハ到底實行不可能ナルヲ以テ現在ニ於テ玄米食ヲ立前トスルコトハ適當ナラズ

(ロ) 今後ノ對策

(一) 歩搗程度ノ減少

ビタミンB<sub>1</sub>ノ含有量ハ現行主食ニ比シ玄米食ノ優ルコト勿論ナルモ現行海軍主食品タル三步搗米及壓搾麥並ニ内地ニ於テ普通ニ得ラルル副食品其ノ他ヨリ一應必要量ヲ確保シ得ルヲ以テ此ノ點ニ於テ今直ニ玄米食ニ移行ノ要ナキモ内地ニ於テモ新鮮ナル各種副食品ノ補給漸次困難ノ趨勢ニ鑑ミB<sub>1</sub>ノ攝取量ヲ増加スルコトハ効果的ナルヲ以テ現行三步搗標準(重量歩留九七%)ヲ二歩搗標準ニ改ムルコトトセリ

(二) 特ニ玄米食ヲ要スル場合ノ處置

地方的事情ニ依リ歩搗米ヲ得ラザル場合又ハ副食ノ關係ニテビタミンB<sub>1</sub>等充分ノ栄養素ヲ得ラザル際ハ玄米ノ使用ヲ適當トスルモ各所轄當務者ノ思附ニ依リ或ハ之ヲ採用シ或ハ之ヲ廢スルガ如キハ弊害ヲ伴フヲ以テ所屬長官又ハ所在最高指揮官ノ認許ヲ得テ玄米ヲ使用スルヲ要ス

尙南西方面ハ從來同地方搗精機ノ性質上歩搗米又ハ玄米ノ精搗困難ナリシモ昨年來之ガ改善ニ着手シ其ノ供給地タル西貢(第百一軍需部支部)及第百二軍需部(本部及

支部)ニ於テハ歩搗米又ハ改良玄米ノ準備成リ同方面ノ人員ニ對スル供給可能ノ見込ナリ

(三) 咀嚼ノ勵行

玄米食ニ於テモ咀嚼ノ勵行ニ依リ消化吸收度ヲ高ムルコトヲ得ルハ勿論ナレドモ今後玄米食タルト否トニ拘ラズ咀嚼ノ勵行ニ就テハ特ニ指導獎勵ヲ要ス

(別表略)

艦本機密第一一號ノ一九五五六

昭和十四年艦本機密第一〇號艦船造修規則第十四條ニ依ル書類ノ様式別冊中左ノ通改正ス

昭和十九年十一月十五日

海軍艦政本部長

第四十號様式ヲ別紙ノ如ク改ム

(別紙添)

艦本機密第一一號ノ一九七六七

艦政本部第一課第二課ノ所掌事項中火工兵器關係事務ヲ艦政本部限同部第一課ヲシテ所掌セシメ當分ノ間之ヲ試行ス

昭和十九年十一月十八日

海軍艦政本部長

○ 雜 款

○ 派遣先ニ關スル件

0345



當分ノ間當隊各飛行隊及審査部ヲ派遣隊トシテ左ノ各航空基地ニ派遣ス

霞ヶ浦派遣隊 茨城縣稻敷郡阿見村 霞ヶ浦航空基地

陸攻、銀河隊ノ大部、審査部陸上班ノ大部(除戰闘機審査班)

大分派遣隊 大分市 大分航空基地

艦爆、艦攻、艦偵各隊(除審査部)

厚木派遣隊 神奈川県高座郡 厚木航空基地

戰闘機隊(除夜戰、含審査班ノ大部)

舟島派遣隊 茨城縣稻敷郡舟島村 舟島航空基地

飛行艇隊 審査部水上班

鹿島派遣隊 茨城縣稻敷郡安中村 鹿島航空基地

各種水上機隊(除飛行艇隊) 除審査部  
(横須賀海軍航空隊)

○事務開始

東京海軍監督官仙臺出張所ヲ十一月十日仙臺市南町六一太陽生命保險株式會社内(電話仙臺三四八五)ニ設置シ事務ヲ開始セリ

(東京海軍監督官事務所)

驅逐艦櫻丸裝員事務所ヲ十一月十四日横須賀海軍工廠内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去

第十一號輸送艦裝員事務所ヲ十一月四日撤去セリ

○殘務整理

第六五三海軍航空隊(ウ參六四)ハ十一月十五日解隊殘務整理ハ當分ノ間大分航空基地ニ於テ之ヲ行フ

第四十四防空隊ハ八月五日解隊殘務整理ハ第八十一警備隊内ニ於テ之ヲ行フ

○家族移轉料支給上ノ勤務地ニ關スル件

本年官房經第八八號第十三條ノ二ニ依ル家族移轉料支給上ノ勤務地ヲ左ノ通指定ス

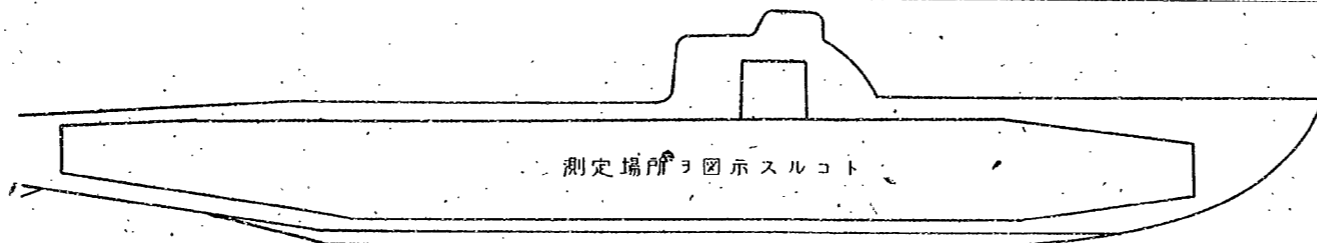
航空隊名	家族移轉料支給上ノ勤務地
第三〇二海軍航空隊	神奈川県横須賀市
第七二二海軍航空隊	茨城縣東茨城郡橋村

(横須賀鎮守府)

大東亞戰爭戰歿者故海軍大尉吉村正助外諸勇士ノ合同海軍葬儀ヲ來十一月三十日福岡市縣公會堂ニ於テ佛式ニ依リ執行

○本日海軍公報發行セズ

號第	潜水艦深深度潜航公試成績表	施行年月日	年 月 日	外氣溫度	海水溫度
		施行場所	於	外氣氣壓	海水比重



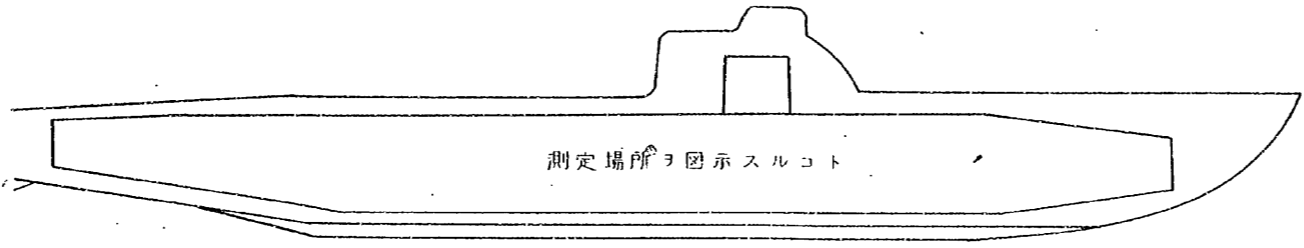
船 體 ノ 歪 成 績

深 度 項 目 (重錘龍骨下面ヨリ水面迄トス)	計測深度 (米)	測 定 場 所				艦ノ縦傾斜(度)		艦内氣 壓(耗)
						仰 角	俯 角	
水面状態(常備標準状態)								
自 露頂潜航深度 至 計測安全潜航深度 ノ約 $\frac{1}{2}$ 深度	計測セズ 但シ豫行ノ場 合ニハ十米毎 ニ計測シ置モ トス							
自 計測安全潜航深度 ノ約 $\frac{1}{2}$ 深度 至 計測安全潜航深度	十米毎ニ 計測ス							
自 計測安全潜航深度 至 計測安全潜航深度 ノ一割増深度	五米毎ニ 計測ス							
自 計測安全潜航深度 ノ一割増深度 至 計測安全潜航深度 ノ約 $\frac{1}{2}$ 深度	潜航時ニ 測定セル 深度ニ於 テ計測ス 但シ十米 毎ニ計測 ス							
水 上 状 態								
永 久 歪 (入港後計測スルコト)								
測 定 場 所								

(艦本機密第一二號ノ一九五五六別紙)  
 調製心得 船體ノ歪ノ單位ハ耗トシ凸出ハ(+)凹ミハ(-)符ヲ附シ記註スルモノトス  
 註 計測安全潜航深度ハ制限ヲ附セラレタル場合ニハ制限深度トス  
 第四十號様式

(昭和十九年十一月二十四日海軍公報)

0347  
0348

號第 潜水艦深深度潜航公試成績表		施行年月日	年 月 日	外氣溫度	海水溫度	
		施行場所	於	外氣氣壓	海水比重	
						
船 體 ノ 垂 成 績						
深 度 項 目	計測深度 (米)	測 定 場 所			艦ノ縦傾斜(度)	艦内氣 壓(米)
(承録龍骨下面ヨリ水面迄トス)					仰 角	俯 角
水 面 狀 態 (常備標準狀態)						
自 露頂潜航深度	計測セズ 但シ像行ノ場 合ニハ十米毎ニ計測シ置モ ノトス					
至 計畫安全潜航深度ノ約々深度						
自 計畫安全潜航深度ノ約々深度	十米毎ニ計測ス					
至 計畫安全潜航深度						
自 計畫安全潜航深度	五米毎ニ計測ス					
至 計畫安全潜航深度ノ一割増深度						
自 計畫安全潜航深度ノ一割増深度	潜航時ニ測定セル 深度ニ於テ計測ス 但シ十米毎ニ計測ス					
至 計畫安全潜航深度ノ約々深度						
水 上 狀 態						
永 久 歪 (入港後計測スルコト)						
測 定 場 所						

(艦本機密第一二號ノ一九五五六別紙)  
 調製心得 船體ノ歪ノ單位ハ托トシ凸出ハ(+)凹出ハ(-)符ヲ附シ記註スルモノトス  
 註 計畫安全潜航深度ハ制限ノ附セラレタル場合ニハ制限深度トス  
 第四十號様式

(昭和十九年十一月二十四日海軍公報)

0347  
0348



# 海軍公報 第四八六一號

昭和十九年十一月二十五日(土)  
海軍大臣官房

○令 達

官房教機密第四八八號

官房教機密第四七〇號ニ依ル小艦艇ノ艦裝員及艦裝員附豫定者  
機關術講習開始時期、員數及講習範圍左記ノ通定ム

昭和十九年十一月十七日

海軍大臣

記

講習開始時期 第一回昭和十九年十一月十八日 第二回以降毎月一日及十六日	講習標準員數(二艦ニ對スル分)	講習範圍	新建造ノ驅逐艦(丁)、海防艦及輸送艦	配	經	送艦全部ニ對シ實施スルモノトス
				置	種	
准士官以上	特務士官(機)及機關科准士官總員	送艦全部ニ對シ實施スルモノトス	海防艦及輸送艦	甲	甲	送艦全部ニ對シ實施スルモノトス
下士官	機部員	機部員	輸送艦	丙	丙	機部員
士	電機部員	電機部員	海防艦	丁	丁	電機部員
官	空壓縮機部員	空壓縮機部員	一等二等	一等二等	一等二等	空壓縮機部員
及	兵	兵	海防艦	海防艦	海防艦	兵
補機員	補機員	補機員	輸送艦	輸送艦	輸送艦	補機員
二	三	六	八	八	八	二
二	二	四	八	八	八	二
二	二	四	八	八	八	二
二	二	四	八	八	八	二

官房教機密第四九〇號  
當分ノ開准士官學生教育特例左ノ通定ム

秘海軍公報 第四八六一號 昭和十九年十一月二十五日

昭和十九年十一月二十日

海軍大臣

准士官學生教育特例

- 一 本教育ハ基礎教育及術科教育ニ分チ之ヲ實施ス
- 基礎教育ハ准士官學生教育綱領ニ基キ之ヲ實施シ術科教育ハ主トシテ各術科中堅幹部トシテノ教育ニ重點ヲ置キ之ヲ實施ス

二 教育期間

- 基礎教育 約一月半
- 術科教育 約一月

三 教育開始期日

教育場所	教育開始期日
基礎教育	十二月十日、一月一日、二月二十日、五月十日、七月一日、八月十五日
術科教育	一月一日、三月十日、四月十日、七月一日、八月十五日、十月五日

(イ) 基礎教育ハ横須賀、吳、佐世保及舞鶴海兵團ニ於テ之ヲ

一五二七

0349

實施ス

(ロ) 術科教育ハ專修別ノ區分ニ從ヒ夫々各術科學校(軍樂科ニ在リテハ横須賀海兵團)各海軍練習航空隊又ハ戸塚海軍病院ニ於テ之ヲ實施ス

五 專修別教育員數

學生ノ專修別教育員數ハ毎回鎮守府司令長官之ヲ定メ術科教育開始一月前迄ニ海軍省人事局長、海軍省教育局長及關係各教育廳長ニ通知スルモノトス但シ航空關係員ノ教育員數等ハ別ニ之ヲ定ム

六 修業成績

(イ) 基礎教育ヲ實施シタル海兵團長ハ同修業成績ヲ所屬ノ鎮守府司令長官ニ報告スルト共ニ術科教育ヲ實施スベキ各廳長ニ通報スベシ

(ロ) 術科教育ヲ實施シタル廳長ハ基礎教育修業成績ヲ加味シ准士官學生修業成績ヲ調製シ之ニ經過概要竝ニ所見ヲ附シ所屬長官ニ報告スルト共ニ本人在籍ノ鎮守府司令長官ニ通報スベシ

(ハ) 所屬長官ハ術科教育ヲ實施セル廳長ノ修業報告ニ對シ更ニ意見ヲ附シ之ヲ海軍大臣ニ提出スベシ

七 其ノ他

(イ) 本教育中學生ハ各教育廳附トス  
(ロ) 本教育ニ引續キ各種特修科學生又ハ各種講習員ニ採用スル者ハ術科教育ヲ行ハザルコトヲ得  
(ハ) 准士官學生中特修科學生又ハ講習員ニ採用豫定者ニシテ

同教程終了後海軍武官任用令第二十九條第一項ノ規定ニ依リ他ノ科ニ轉セシムベキ者アル場合ハ轉科豫定ノ科別及專修別ニ依リ本教育ヲ實施スルモノトス  
(ニ) 本教育ニ要スル兵器、燃料其ノ他ハ供給又ハ貸與ス  
詳細ハ海軍艦政本部長及海軍省軍需局長ヲシテ通牒セシム

官房教第四九七號

昭和十九年十一月二十二日

海軍大臣

横須賀、吳、各鎮守府司令長官  
佐世保、舞鶴、海軍練習聯合航空總隊司令官 殿

臨時劍道講習施行ノ件訓令

各鎮守府司令長官ハ別紙要領ニ依リ臨時劍道講習ヲ實施スベシ  
海軍練習聯合航空總隊司令官ハ部下聯合航空隊司令官ヲシテ適宜講習員ヲ派遣セシムベシ  
横須賀鎮守府司令長官ハ横須賀海軍砲術學校長ヲシテ所要ノ職員ヲ派遣セシムベシ  
(別紙添)

○ 通 牒

官房機密第七〇九號

昭和十九年十一月二十二日

海軍省副官

關係各廳長殿

海軍省交換所ノ空襲時配備ニ關スル件通知

關東地區空襲警報發令アリタル場合海軍省第一交換所ハ左記非常回線ヲ防空壕内ニ在ル第二交換所ニ切換ヘタル後全員配備ヲ撤シ爾後右警報解除迄第二交換所ニ於テ交換業務ヲ實施ノコトニ定メラレ候條了知相成度

追テ海軍省專用線ヲ有スル各廳關東地區及橫濱管區ヲ除クニ對シテハ防空警報ノ發令又ハ解除ハ交換所ヨリ速報可致候

記

- 一 橫須賀鎮守府(自一七番線) 吳 鎮 守 府(四番線)
- 佐世保鎮守府(二番線) 舞 鶴 鎮 守 府(二番線)
- 大湊警備府(一番線) 大 阪 警 備 府(二番線)
- 霞ヶ浦航空隊(二番線) 木更津航空隊(一番線)
- 大分航空隊
- 二 在京各廳

契九機密第八〇六號

昭和十九年十一月二十四日

海軍省 經理局長

關係各廳長 殿

海軍用煙草數量特配ニ關スル件照會

今般大藏省ヨリ別紙要領ニ依リ製造煙草數量特配實施可致旨通知有之候處右ハ家庭配給制ノ補完ノ措置ニシテ當分ノ開配給數量等確定セザル趣ニ付之方實施ニ關シテハ左記ニ依リ可然取計相成度

記

取得

各廳ハ必要ニ應ジ當該地方專賣局又ハ最寄煙草賣渡官署ニ要求シ其ノ割當ニ依リ直接消費者賣渡ノ形式ニテ購入スルモノトス但シ海軍省(構内各部ヲ含ム)ニ於テハ直接大藏省專賣局ニ要求スルモノトシ尙各廳ハ要スレバ相互協議ノ上他廳ノ分モ取組メ要求スルコトヲ得

配給

- 左ノ各號ニ基クノ外各廳長ノ定ムル所ニ依ル
- (イ) 用途 別紙實施要領記載ノ通尙官廳用ニハ會議接待用等ヲ含ム
- (ロ) 數量 家庭配給及勞務者用價格特配煙草ノ數量ヲ考慮シ割當ノ範圍内適宜
- (ハ) 範圍 當該廳ニ勤務スル成年者但シ左ヲ除ク
  - (ニ) 喫煙ノ慣習無キ者
  - (三) 酒保用煙草ノ配給ヲ受クル者

(別紙)

製造煙草數量特配實施要領

大藏省 專賣局

製造煙草割當配給制實施後ニ於ケル製造煙草ノ數量特配ハ概ネ左ノ要領ニ依リ之ヲ實施スルモノトス

一 特配ノ用途

(イ) 事業用 戦力増強上必要ナル事業遂行ノ爲ノ獎勵用等ト

0351

變更セリ

○銓衡試驗問題發送

高等科 砲術 特技章付與第一回  
普通科 砲術 特技章付與第四回  
測的術 測的術  
（試驗期日昭和二十年一月十日）  
銓衡試驗問題

右十一月二十日左記ノ通發送濟、未着又ハ別ニ必要ノ向ハ最寄海軍人事部、警備府又ハ横須賀海軍砲術學校へ至急通知相成度

記

一 聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部、各警備府宛送付

二 單獨試驗施行豫定ノ所轄ニハ直送

三 聯合試驗參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更等ノ爲聯合試驗參加不能ノ向ニ對スル分トシテ前記宛單獨試驗用問題若干送付濟  
（横須賀海軍砲術學校）

○閉廳

船舶警戒部新潟支部ハ十一月二十日新潟市東港通日滿館内ニ開廳セリ

（電話新潟 四〇六五）

旅行順路 沼垂驛下車 徒歩約五分

○本日軍極秘海軍公報第三九號（甲配付）發行セリ

シテ配給ス

（ロ）季節用 國民ノ士氣昂揚ニ資スル等ノ爲正月用、孟蘭盆用等トシテ配給ス

（ハ）非常用 非常災害發生ノ際ニ於ケル人心安定等ノ爲ノ緊急用トシテ配給ス

（ニ）其ノ他用 前各號ノ外戦力増強等ノ爲必要ナル用途（官廳用ヲ含ム）ニ配給ス

二 特配煙草ノ種類及數量

特配スベキ煙草ノ種類及數量ハ煙草ノ製造及輸送ノ狀況ニ應ジ一般割當配給及價格特配トノ關聯ニ留意シテ隨時之ヲ定ムルコト

三 割當ノ手續

（イ）事業用特配ハ中央ニ於テ行フ適當トスルモノニ付テハ中央、其ノ他ノモノニ付テハ地方ニ於テ必要ニ應ジ割當ツルコト

（ハ）（ロ）季節用特配ハ必要ニ應ジ中央ニ於テ割當ツルコト

非常用特配ハ災害ノ範圍及程度ニ應ジ中央又ハ地方ニ於テ割當ツルコト

（ニ）其ノ他用特配ハ特配ノ對象及範圍ニ應ジ中央又ハ地方ニ於テ割當ツルコト

○雜 款

○司令艇變更

第二十一驅潜隊司令ハ十一月三日司令艇ヲ第二十三號驅潜艇ニ

(官房教第四九七號別紙)

臨時劍道講習實施要領

(昭和十九年十一月二十五日祕海軍公報)

一 目的

横須賀海軍砲術學校職員ヲ各領守府ニ派遣シ同校研究ノ海軍劍道指導要領ヲ實習シ之ヲ普及徹底セシムルニ在リ

二 實施要領

(イ) 實施時期、實施廳、講習員派遣元及講習員數

領守府別	實施期間	實施廳	講習員派遣元	講習員標準	記事
横須賀	自十一月八日 至十一月十五日	横須賀海軍砲術學校	術科學校	准士官以上 下士官二 名	海軍經理學校ヲ含マン ムルコトヲ得
吳	自十一月二十日 至十一月二十五日	吳海兵團	海兵團	右ノ外教師囑 ルコトヲ得	海軍兵學校ヲ含マン ムルコトヲ得
佐世保	自十一月十一日 至十一月十五日	佐世保海兵團	病院練習部	右ノ外教師囑 ルコトヲ得	海軍兵學校ヲ含マン ムルコトヲ得
舞鶴	自十一月十四日 至十一月十五日	舞鶴海兵團	練習航空隊	右ノ外教師囑 ルコトヲ得	海軍兵學校ヲ含マン ムルコトヲ得
備考	狀況ニヨリ講習員ノ派遣ハ増減或ハ取止ムルコトヲ得				

(ロ) 講習項目

- (一) 軍刀術
- (二) 斬撃術
- (三) 形術
- (四) 竹刀術
- (五) 仕合口

三 講習指導官及同附

横須賀砲術學校教官適宜 同囑託 一 下士官適宜

四 旅費

講習指導官、同附並ニ講習員派遣ニ要スル旅費ハ請求ヲ俟テ別途配付ス



秘

0354

海軍公報 第四八六二號

昭和十九年十一月二十七日(月) 海軍大臣官房

○令 達

達第三七〇號

海軍兵備品會計規程中左ノ通改正ス

昭和十九年十一月二十四日

海軍大臣

別表中戰用治療品ノ項出納命令官ノ欄ヲ「病院藥劑部長」ニ改

ム

官房艦機密第七二〇一號

昭和十九年十一月二十二日

海軍大臣

吳、佐世保、舞鶴鎮守府司令長官、  
高雄警備府司令長官、  
海軍艦政本部部長、  
海軍艦政本部部長

水中測的兵器整備ニ關スル件訓令

鎮守府司令長官及警備府司令長官ハ部下海軍工廠長又ハ海軍工  
作部長ヲシテ首題ノ件左記ニ依リ施行セシムベシ  
海軍艦政本部部長ハ海軍監督長及海軍技術研究所長ヲシテ右ニ協  
力セシムベシ

記

秘海軍公報 第四八六二號 昭和十九年十一月二十七日

一、目的

海軍工作廳下遠隔ノ地ニ於ケル警備、護衛、哨戒艦艇及微備  
船並ニ一般船舶ノ水中測的兵器整備ニ關シテハ新式兵器ノ出  
現ニ伴ヒ不便ヲ感ジツツアル現狀ナルヲ以テ當分ノ間之ヲ整  
備班ヲ常駐シ本兵器ノ檢査修理調整ニ當ラシメ併セテ當該地  
方造修機關ノ技術指導ヲ行ハントス

二、實施要領

海軍工廠長及海軍工作部長ハ第三號ノ要領ニ依リ水中測的兵  
器地方整備班ヲ編成駐在セシメ同地方整備班ニ入港ノ主トシ  
テ對潛護衛及哨戒艦艇、海軍微備船及一般商船ノ水中測的兵  
器整備(主トシテ檢査、修理、調整)ニ當ラシムルモノトス  
海軍艦政本部部長ハ必要ノ場合海軍技術研究所長ヲシテ同所部  
員並ニ工員ヲ派遣シ右ニ協力セシムルモノトス  
尙修理工事ノ實施ハ民間工場ニ委託スルコトヲ得

三、水中測的兵器地方整備班ノ編成、當駐場所

地方班別	班 員		同出上	常駐場所	記 事
	高等官	工員			
阪神班	技術科 士官 一	二	舞旅	大阪武官府 及神戸武官府	技術科士官一ハ 舞旅附ヲ以テ之 ニ當ツ

一五三一

關門班	同	右	三	吳廠	門司武官府
佐伯班	同	右	三	吳廠	吳防備戰隊司令部
鹿兒島班	同	右	二	佐廠	鹿兒島武官府
高雄班	同	右	三	馬公工作部	第一海上護衛隊又ハ高雄武官府

警備府司令長官、防備戰隊司令官、海上護衛隊司令官及海軍監督長ハ艦船水中測的兵器整備作業ニ關シ必要ノ場合所在地方整備班ヲ區處スルコトヲ得

四 實施期間

昭和十九年十二月一日以降成ルベク速ニ開始スルモノトシ概ネ一年間トス

五 費目

臨時軍事費、臨時軍事費、造船造兵及修理費、造修費(普)

六 旅費

請求ヲ俟テ別途配付ス

官房經第一〇四七號

昭和十七年官房第四九三號中左ノ通改正ス

昭和十九年十一月二十五日

海軍大臣

第三號中「甲造船」トアルヲ「海軍大臣ノ管理(船舶及造船ニ關スル事務)スル船舶」ニ改ム

(參照) 海軍會計法規類集一巻六九四頁

○通牒

軍務一機密第一二二二號

昭和十九年十一月二十五日

海軍省軍務局長

各廳長 殿

若年高等官ノ躰ニ關スル件申進

部内若年高等官就中海軍ニ於ケル教育期間ノ短キ者ニ對スル躰教育ニ關シテハ各部ニ於テ勵行努力セラレアル處最近構門通過時敬禮ニ關聯シ職務上直接關係ナキ高等官方番兵ヲ毆打セル事例數件アリ軍紀維持上遺憾ニ被存候ニ付テハ貴部下若年高等官ニ對シ番兵ノ職務ノ尊嚴ナルコト及之ニ對スル非行ハ海軍刑法ノ適用ヲ受クルモノナルコトヲ徹底セシメ自今此ノ種事故ヲ惹起セシメザル様指導相成度  
追テ非行ニ對シテハ要スレバ嚴罰主義ヲ適用スルコトニ併セ考慮アリ度

○感狀

感狀

久野海軍大佐ノ指揮セル

工政擊部隊

昭和十九年十月十二日臺灣東方海面ニ出現セル敵米國機動部隊主力ニ對シ十二月十三日及十四日ノ三日ニ亘リ暗夜ヲ冒シ勇猛果敢ナル肉薄夜襲ヲ以テ克ク其ノ航空母艦ノ大部ヲ擊碎シタル

ハ全軍ノ作戰ニ寄與スル所極メテ大ニシテ武勳顯著ナリト認ム  
仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十九年十月二十三日

聯合艦隊司令長官 豊田 副武

感 狀

第六基地 航空部隊  
同 指揮 下部隊  
第五基地 航空部隊

昭和十九年十月十日以降數日ニ亘リ南西諸島臺灣及北非方面ニ  
策動セル敵米國機動部隊主力ニ對シ連日果敢ナル航空戰ヲ反覆  
シテ其ノ航空母艦ノ大部竝ニ其ノ他多數艦艇ヲ擊沈破シテ克ク  
大勢ヲ制スルノ戰果ヲ收メタルハ其ノ武勳顯著ナリト認ム  
仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十九年十月二十三日

聯合艦隊司令長官 豊田 副武

感 狀

「バラオ」地區集團司令官ノ指揮スル  
「バラオ」地區集團(在「ヤップ」部隊缺)  
第三十根據地隊及同司令官指揮下部隊  
(在「ヤップ」部隊缺)

集團司令官陸軍中將井上貞衛ハ「バラオ」諸島ノ守備ニ任シ豫  
テ銳意戰備ヲ整ヘ士氣ヲ振作シ殊ニ挺身必殺ノ戰法ヲ定メテ其  
ノ訓練ニ勉メ又第三十根據地隊司令官海軍中將伊藤賢三ハ海軍

部隊ノ戰備ニ關シ創意ヲ加フルコト少カラス之カ爲將兵齊シク  
守備ノ重任ヲ自覺シ陸海軍協力適切ナル戰備ヲ完整シ必勝ノ意  
氣ニ充溢敵ヲ待テリ

昭和十九年九月敵大部隊來攻スルヤ長期熾烈ナル砲銃爆撃ノ下  
水陸防備部隊各々克ク韌強ナル戦力ヲ發揚シ「ベリリユー」及  
「アンガウル」島方面ニ於テ敵ノ上陸ヲ初動ニ擊破シ優勢ナル  
敵軍遂ニ陸上ニ地歩ヲ占ムルニ至レルモ志氣益々旺盛果敢ナル  
反撃ヲ以テ之ニ甚大ナル損害ヲ與ヘ又夜間海上機動ニ依ル兵力  
増援、水上機ヲ以テスル奇襲好機ニ投シ既ニ月餘ニ亘リ敵ノ同  
方面要域利用ヲ阻止シ以テ全作戦ニ偉大ナル寄與ヲ爲セリ  
右ハ盡忠ノ至誠ニ發スル皇軍ノ精華ニシテ其武功拔群全軍ノ範  
トスルニ足ルモノト認ム  
仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十九年十月二十三日

聯合艦隊司令長官 豊田 副武

感 狀

陸軍部隊

步兵 第二聯隊  
步兵第十五聯隊第二第三大隊及同配屬部隊  
獨立步兵 第三、四、十六大隊  
第十、四師團 戰車隊  
特設第三十三、三十五、三十八機關砲隊  
海上機動第一旅團輸送隊ノ一部

秘海軍公報 第四八六二號

昭和十九年十一月二十七日

一五三三

海軍部隊

- 第十四師 團通信隊ノ一部
- 同 經理勤務部ノ一部
- 同 野戰病院ノ一部
- 第二十三野戰防疫給水部ノ一部
- 第三船舶輸送司令部「バラオ」支部ノ一部
- 西カロリン方面航空隊
- 第四十五警備隊「ベリリユ」派遣隊
- 第三通信隊ノ一部
- 第二百十四設設營隊
- 第三十建設部ノ一部
- 第三南西方面航空廠ノ一部
- 第三十工務部ノ一部
- 第三三三工務隊

右ハ陸軍大佐中川男ノ指揮ノ下「ベリリユ」島ノ守備ニ任  
シ昭和十九年九月六日以來航空母艦約十隻ヲ含ム敵艦隊ノ連日  
熾烈ナル砲撃ニ堪ヘ同月十五日敵上陸ヲ企圖スルヤ敵舟艇群  
ヲ數次海岸ニ邀撃シテ潰走セシメ爾後優勢ナル敵軍遂ニ同島ノ  
一角ニ地歩ヲ占メ十七日以後熾烈ナル砲撃並多數ノ戰車ノ支

援ノ下連日反覆攻撃シ來レルモ主トシテ肉迫攻撃ニ依リ之ヲ反  
撃擊退シツツ同島飛行場ヲ制スル要域ヲ確保シテ九月末ニ及ビ  
而モ此ノ間敵約二師團戰車約二百輛及多數艦船艇ニ對シ甚大ナ  
ル損害ヲ與ヘ以テ既ニ旬日餘ニ亙リ敵作戦企圖ヲ破推セルハ全  
作戦ニ寄與スルトコロ頗ル大ナリ  
「ベリリユ」守備部隊ガ敵物の威力ヲ凌駕シ克ク右戦績ヲ收  
メ得タルハ陸海軍一體豫テ銳意戰備ヲ整ヘ創意ヲ凝ラシ至難ナ  
ル戦況裡將兵一致盡忠ノ至誠ニ徹シテ勇奮挺身敵ニ當レル結果  
ニシテ其ノ武功拔群全軍ノ範トナスニ足ルモノト認ム  
仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス  
昭和十九年九月二十九日  
聯合艦隊司令長官 豊田 副武

○ 雜 談

○司令艇變更  
第二十一驅潜隊司令ハ十一月十六日司令艇ヲ第三十七號驅潜艇  
ニ變更セリ

合同海軍葬儀執行

期日及時刻	大東亞戰爭戰歿者	喪葬管理者	場	所	記事
十一月三十日 ○九三〇	故海軍軍醫少佐河瀬龍外諸勇士	神戸地方海軍人事部長	神戸港軍隊休憩所	佛式	

○本日海軍公報發行セズ



# 海軍公報 第四八六三號

昭和十九年十一月二十八日(火)  
海軍大臣官房

## ○令 達

内令第一二八三號(軍極祕海軍公報第三九號(甲配付)ニ掲載)

内令第一二八四號(軍極祕海軍公報第四〇號(甲配付)ニ掲載)

内令第一二八五號

海防隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十九年十一月二十日

海軍大臣

第一海防隊ノ項中「千振、」ノ下ニ「第十三號、」ヲ加フ  
第十一海防隊ノ項中「第七號、」ノ下ニ「第三百三十號、第三百三十四號、」ヲ加フ

(内令提要卷一、七三頁参照)

内令第一二八六號

第六十八號海防艦

右本籍ヲ佐世保領守府ト定メラル

佐世保領守府在籍

第六十八號海防艦

右警備海防艦ト定メラル

昭和十九年十一月二十日

海軍大臣

内令第一二八七號

昭和八年内令第二三八號潜水艦ノ安全潜航深度ノ制限中左ノ通改正ス

昭和十九年十一月二十二日

海軍大臣

別表中

八割ノ欄「伊號第五百五十八」ノ下ニ「伊號第六百六十五」ヲ加ヘ、  
九割ノ欄「伊號第六百六十五」ヲ削ル

官房經機密第一八〇五號

海軍戰時特例給與規則中左ノ通改正ス

昭和十九年十一月二十五日

海軍大臣

第二十條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ治療ヲ要スルトキハ其ノ治療費ハ官費支辨トス但シ自己ノ便宜ニ依リ隨意ニ治療スル者ハ此ノ限ニ在ラズ  
一ノ戰地ニ在リ若ハ派遣セラレ又ハ戰地ニ在ラザルモ特別ノ命令ニ依リ對敵ノ行動ヲ取ル各部ニ勤務スル軍人軍屬  
二 艦船乗組又ハ海軍ニ於テ傭入(徵傭ヲ含ム)、傭入、徵發若ハ拿捕シタル船舶乗組ノ軍人軍屬及其ノ他ノ者  
三 戰地ニ於テ海軍ノ業務ニ從事シ又ハ海軍ノ任務遂行ニ協

秘海軍公報 第四八六三號 昭和十九年十一月二十八日

一五三五

0358

カスル者ニシテ昭和十七年官房第四八五號ニ依リ軍屬ト  
爲リタルモノ

四 海軍ノ各部ニ在ラザル豫備員候補者但シ海軍ニ於テ治療  
ノ要アリト認メタル場合ニ限ル

五 軍屬船員(徵備船船員ヲ除ク)但シ戰地外ニ在リテハ  
傷痍疾病ノ原因職務ニ起因スル場合又ハ海軍ニ於テ應急治  
療ノ要アリト認メタル場合ニ限ル

六 前號ニ該當セザル船員(徵備船船員ヲ除ク)但シ海軍  
ニ於テ應急治療ノ要アリト認メタル場合ニ限ル

前項ノ規定ニ該當スル者アルトキハ廳長(廳長在ラザル者ニ  
付テハ其ノ治療ノ必要ヲ認メタル廳ノ長又ハ之ニ準ズベキ者  
トス)ハ所屬若ハ最寄ノ海軍病院(治療設備ヲ有スル各部ヲ  
含ム)又ハ部外病院等ニ收容治療セシムルモノトス

第二十條ノ三 見習尉官、生徒、學生、志願兵及豫備員候補者  
ノ採用豫定者トシテ海軍ノ部隊學校其ノ他ノ各部ニ參着シタ  
ル者ニ對シテハ當該部隊學校及其ノ他ノ各部ニ在ル間海軍給  
與令第九十一條第一號及第二號ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

(參照) 海軍機密會計法規類集一二三頁

○ 通 牒

軍務一機密第一一七號

昭和十九年十一月二十七日

海軍省軍務局長

各 廳 長 殿

廢紙類利用ニ伴フ機密保持ニ關スル件申進

時局下紙類節約ノ爲各部ニ於テ廢紙類ノ利用ヲ圖ラレツツアル  
處最近左記ノ如キ事例アリタルニ鑑ミ之ガ利用ニ當リテハ其ノ  
紙類ノ性質、内容並ニ機密程度等ニ付充分検討ヲ加ヘ萬一ニモ  
機密漏洩ノ端緒ヲ作ルガ如キコトナキ様一層嚴重ニ指導方取計  
相成度

記

一 最近軍機祕ノ標記アル紙類ノ裏面ヲ利用シ輕易ナル書類ヲ  
作り他ニ送付セルモノアリ

二 重要事項ノ記載シアル廢紙ニテ切取紙ヲ作り他ヨリ注意セ  
ラレタルモノアリ

三 海軍作業廳ノ一工員ハ兵器ノ設計書寫眞ニテ封筒ヲ作り之  
ヲ私信ニ用ヒ通信檢閱ニテ發見セラレタリ

四 祕以上ノ内容ヲ有スル書寫眞又ハ圖面類ヲ以テ包裝紙ニ代  
へ使用セルモノアリ

艦本機密第一號ノ二九八〇四

昭和十九年十一月二十七日

海軍艦政本部長

横須賀、吳、海軍工廠長殿  
佐世保、舞鶴、光

砲用鐵藥莢試驗檢査ノ件通牒

當分ノ間首題試驗檢査ハ別冊砲用鐵藥莢試驗檢査規則案ニ依リ

0359

之ヲ施行スベシ

(別冊ハ所要ノ向ニノミ之ヲ配付ス)

艦本機密第八號ノ二〇一八七

昭和十九年十一月二十七日

海軍艦政本部長  
海軍省經理局長

關係各海軍工作廳長  
關係各海軍經理部長 殿

陸上有線通信施設工事ニ關スル件照會

首題ニ關スル訓令又ハ通牒工事(既訓令通牒ノモノヲ含ム)ニシテ其ノ一部又ハ全部ヲ通信院設備負擔金工事又ハ委託工事トシテ通信院防衛通信施設局ノ現地施設部ヲシテ施行セシムル必要アルトキハ左記ニ依リ處理相成度

追テ設備負擔金支辨トスベキ工事ハ比較的長距離回線ニシテ之ヲ通信院財産トスルモ別段支障ナキ施設ニ限定シ構内施設ハ之ニ依ラザルコト了知相成度

記

一 通信院設備負擔金支辨工事トシテ處理スル場合  
(イ) 訓令又ハ通牒ヲ受ケタル工作廳ハ所在通信院防衛通信施設局施設部(以下特別工作隊ト稱ス)ト協議ノ上通信院設備負擔金支辨トスベキ工事(以下設備負擔金工事ト稱ス)ヲ決定シ別紙第一號様式ニ依リ艦政本部宛報告スルモノトス

(ロ) 艦政本部ハ(イ)ニ依ル報告ニ基キ所要豫量額ヲ算定シ當該訓令通牒工事ノ豫量額ヲ減額スルト共ニ設備負擔金ニ要スル豫量額ヲ増額スル手續ヲ爲スモノトス

(ハ) 設備負擔金工事ニ要スル經費ハ總テ特別工作隊ニ於テ支拂フモノトス但シ狀況ニ依リ工作廳ヨリ材料等ノ供給ヲ要スル場合ハ當該訓令又ハ通牒工事(部局別整理又ハ科目別整理)ヲ爲ス工事ニ在リテハ部局別又ハ科目別工事)ニ受入レノ上其ノ品名數量金額ヲ特別工作隊ニ通知スルモノトス

(ニ) 通信院ハ毎年度末設備負擔金工事ノ爲各特別工作隊ニ要シタル經費(海軍ヨリ交付シタル材料等ノ代價ヲ含マズ)ヲ取纏メ海軍省經理局長宛ノ納入告知書ヲ艦政本部ニ送付シ艦政本部ハ之ニ對シ支拂ノ手續ヲ爲スモノトス

委託工事トシテ處理スル場合  
(イ) 工作廳ハ狀況ニ應ジ有線通信施設工事ヲ特別工作隊ニ委託セントスル場合ハ同隊ト打合ノ上之ヲ實施スルモノトス

(ロ) 委託工事ニ要スル經費ノ支拂ハ特別工作隊ト打合ノ上委託廳ニ於テ適宜處理スルモノトス

前項支拂ノ爲要スレバ特別工作隊ノ職員ヲ關係海軍經理部支出官ノ資金前渡官吏ト爲スコトヲ得ルモノトス

(別紙添)

○ 雜 款

○ 部隊移動  
第三百十八設營隊ハ九月十五日吳海軍施設部ヨリマニラ基地ニ

秘海軍公報 第四八六三號 昭和十九年十一月二十八日

一五三七

進出セリ

第三百十九設營隊ハ十一月十五日分縣大分市古國府ニ移轉セリ

○事務開始

第十四號輸送艦機裝員事務所ヲ十一月十一日吳海軍工廠内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去

第百十五號輸送艦機裝員事務所ヲ十一月十三日撤去セリ

○残務整理

當艦隊司令部ノ残務整理ハ十一月二十日ヨリ横須賀鎮守府残務整理班内ニ於テ之ヲ開始セリ

(第一機動艦隊司令部)  
(第三艦隊司令部)

○都内電話架設

海軍省第三分室(東京都目黒區大岡山東京工業大學内)ニ左ノ通都内電話架設セリ

電話在原(08) 六六〇〇番  
四〇〇八番  
二九〇四番

○旅行順路

倉敷海軍航空隊ノ所在地及旅行順路左ノ通

一 所在地 岡山縣兒島郡福田村

二 旅行順路 山陽線倉敷驛下車福田村ニ至ル

倉敷、福田村間陸路八軒

(倉敷海軍航空隊)

○本日軍機秘海軍公報第四〇號(甲配付)發行セリ

○本日海軍公報發行セズ

0361



					訓令又ハ通牒番號年月日
					區
					間
					回線互長
					記事

(艦本機密第八號ノ二〇一八七別紙第一號様式)

(昭和十九年十二月二十八日秘海軍公報)

0362

秘

海軍公報號外 (刑罰)

懲罰言渡書

昭和十九年十一月二十八日(火)  
海軍大臣官房

秘海軍公報 號外(刑罰)

一五

0363

秘海軍公報 號外(刑罰)

一六

0364

秘海軍公報 號外(刑罰)

一七

0365

秘海軍公報 號外(刑罰)

二八

0366

秘海軍公報 號外(刑罰)

一九

0367

秘  
海軍公報  
號外(刑罰)

二〇

0368

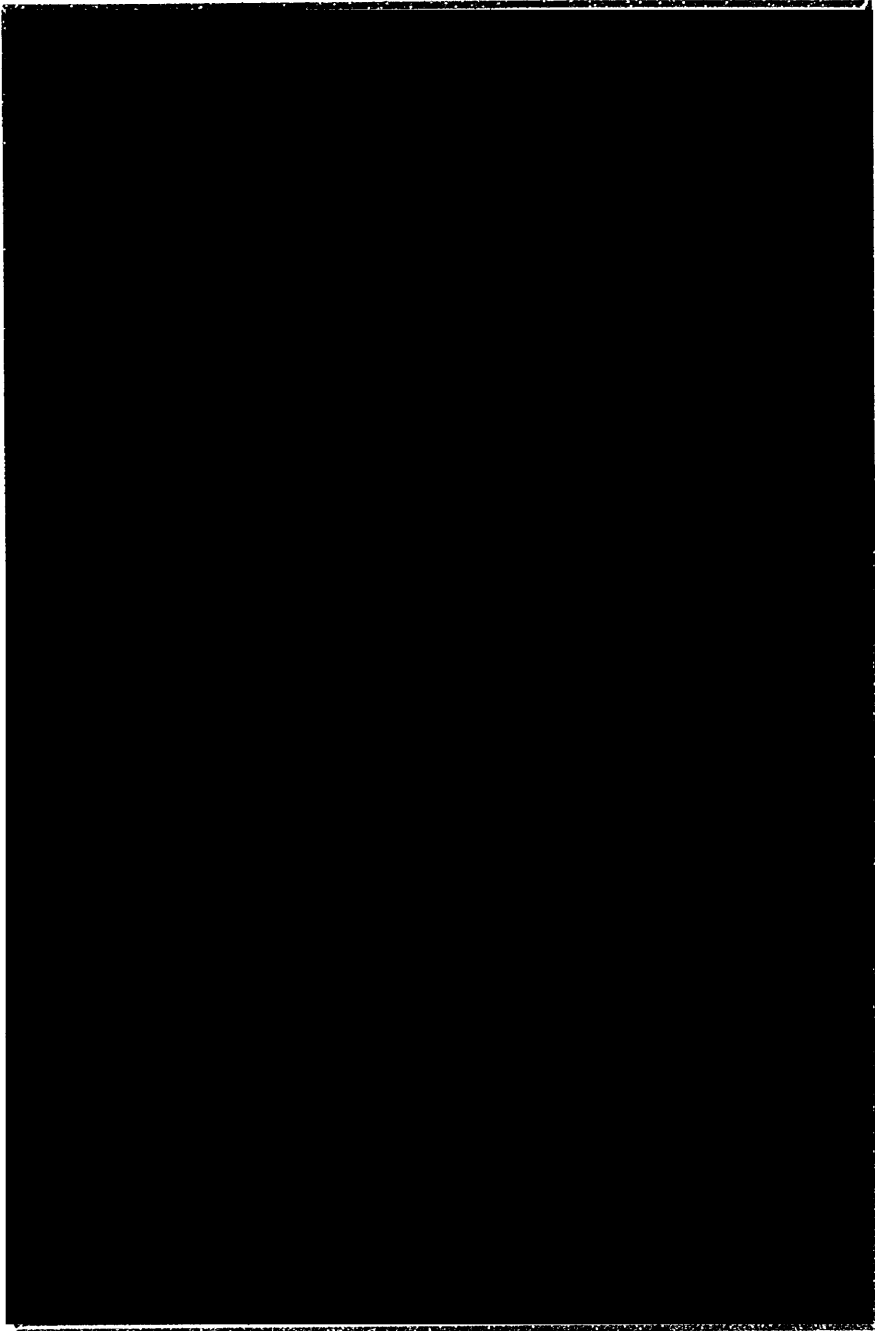
秘海軍公報 號外(刑罰)

二

0369



秘海軍公報 號外(刑罰)



0370

秘

# 海軍公報

第四八六四號

昭和十九年十一月二十九日(水)  
海軍大臣官房

○令 達

達第三七二號

舞鶴海軍工廠ニ於テ建造中ノ驅逐艦一隻ニ左ノ通命名ス

昭和十九年十一月二十五日

海軍大臣

驅逐艦 楡(ニレ)

内令第一二八八號

波號第一一潛水艦

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メラル

昭和十九年十一月二十二日

海軍大臣

内令第一二八九號

第四百四十四號海防艦

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メラル

吳鎮守府在籍

第四百四十四號海防艦

右警備海防艦ト定メラル

昭和十九年十一月二十三日

海軍大臣

内令第一二九〇號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十九年十一月二十五日

海軍大臣

驅逐艦、一等松型ノ項中「橋」ノ下ニ「楡」ヲ加フ

(内令提要卷三、三三頁参照)

官房需機密第四三九號

當分ノ間通常物品支辨各廳ニ於テ左記經營需品ヲ要スル場合ハ最寄海軍軍需部ヨリ繰替供給ヲ受クルコトヲ得但シ其ノ數量等ニ付テハ海軍省軍需局長ヲシテ關係海軍軍需部長ニ通牒セシム之ヲ取扱ニ關シテハ昭和十八年官房經第一一七五號ニ依ルモノトス

補填科目ハ各該當科目ニ依リ處辨スルモノトス

附則

昭和十九年七月三日官房需機密第二三三號ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年十一月二十七日

秘海軍公報 第四八六四號

昭和十九年十一月二十九日

一五三九

0371

海軍大臣

記  
銃剣術要具（劍道兼用）及同用消耗品  
劍道要具及同用消耗品（各學校ノミ供給）

○通牒

海人三第二號ノ一一三

昭和十九年十一月二十五日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

徵兵終決處分ヲ經ザル第二國民兵ノ兵籍編入  
ニ關スル件通牒

昭和十九年陸軍省令第四十五號兵役法施行規則中改正ニ伴フ首  
題ノ件ニ關シ左記ノ通海陸軍間協議済ニ付了知相成度

記

- 一 陸軍部隊ニ召集セラレザル第二國民兵ハ今次ノ措置ニ依リ  
聯隊區ノ兵籍ニ編入セラルモ海軍ノ見習尉官、學生、生徒、  
志願兵、豫備員候補者及軍屬ノ採用（徵募）ニ關シテハ本措  
置實施前ト何等變リナシ
- 二 陸軍部隊ニ召集セラレタル第二國民兵ハ徵兵終決處分終了  
迄ハ部隊編入中ト雖モ海軍ノ見習尉官、學生、生徒、志願兵  
及豫備員候補者ニ採用（徵募）スルコト差支ナシ
- 三 第二國民兵ニシテ現ニ軍屬トシテ海軍各部ニ勤務シアル者

一五四〇

ハ徵兵適齡ニ達スル迄ハ海陸軍何レニモ召集セズ  
四 第二國民兵ニシテ船舶國籍證書ヲ有スル船舶ノ船員タル者  
ハ之ヲ兵籍ニ編入セズ

軍需一機密第一〇九七號

昭和十九年四月一日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

燃料繰替供給單價ノ件通牒

昭和六年第三三五六號ニ依ル本年度燃料繰替供給單價左記ノ通  
定メ候

記

品	種	數稱	單價	品	種	數稱	單價
海軍	煉炭	噸	四五〇〇	一號	重油	同	九五〇〇
一號	煉炭	同	四五〇〇	三號	重油	同	九〇〇〇
二號	塊炭	同	四〇〇〇	罐用	重油	同	九〇〇〇
三號	塊炭	同	三五〇〇	航空二號揮發油	立	同	二〇〇〇
粉	炭	同	二八〇〇	航空一號揮發油	同	同	二〇〇〇
二號	重油	同	一六〇〇	航空特九一揮發油	同	同	五八〇
新二號	重油	同	一六〇〇	航空九一揮發油甲	同	同	五八〇
				航空九一揮發油乙	同	同	五八〇

0372

航空八七揮發油甲	同	四七〇	特發普通揮發油	同	四三〇
航空八七揮發油乙	同	四七〇	一號普通揮發油	同	三八〇
航空八五揮發油甲	同	四五〇	二號普通揮發油	同	三三〇
航空八五揮發油丙	同	四五〇	三號普通揮發油	同	三三〇
航空八〇揮發油甲	同	四三〇	一號石油	同	二六〇
航空八〇揮發油丙	同	四三〇	二號石油	同	三三〇
航空七〇揮發油甲	同	三九〇	三號石油	同	三八〇
航空七〇揮發油丙	同	五二〇	輕油	同	一七〇
航空八〇分解揮發油	同	四二〇	一號アルコール	同	六五〇
航空七〇分解揮發油	同	三七〇	二號アルコール	同	六二〇
航空八七原料揮發油	同	四三〇	一號メタノール	同	六五〇
航空八〇原料揮發油	同	四〇〇			

備考 其他ノ品種ニ關シテハ必要ノ都度通牒ス

艦本機密第三號ノ二〇〇五四

昭和十九年十一月二十四日

海軍省軍務局長  
海軍艦政本部長

各艦隊參謀長殿

水上艦艇裝備ノ小形蓄電池ガス爆發防止ニ關スル件申進

最近驅潛艇ニ於テ蓄電池ガス爆發ヲ惹起シ其ノ原因ヲ探究スルニ充電時通風ヲ忘却スル等取扱粗瀆ニ基クモノト認メラレ候ニ付テハ之ヲ取扱ニ關シテハ機關教範ノ指示スル所ヲ嚴守シ再ビ斯種災害ヲ生起スルコトナキ様取計相成度

○雜 款

○司令海防艦變更  
第二十一號海防隊司令ハ十一月十五日司令海防艦ヲ生名ニ變更セリ

○廳令移轉  
海上護衛總司令部ハ十一月二十四日廳令ヲ海軍大學校内ニ移轉セリ

○事務開始  
海防艦羽節艦裝具事務所ヲ十一月二十日岡山縣玉野市三井造船株式會社玉野造船所海軍兵舍内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去  
第三百三十四設營隊事務所ヲ十一月十六日撤去セリ

○轉勤者赴任先  
自今當隊(呂六三呂六四呂六七)ヘノ轉勤者ハ吳潛水戰隊司令部(廣島縣佐伯郡大竹町海軍潛水學校内)ニ向ケ赴任セシメラ

秘海軍公報 第四八六四號 昭和十九年十一月二十九日

一五四一

0373

レ度

(第三十三潜水隊)

○取消

十一月十八日附秘海軍公報第四八五五號通牒欄一五〇八頁上段  
二行目「五」ハ取消

○正誤

十一月二十五日附秘海軍公報通牒欄「官房機密第七〇九號」ハ  
「官房機密第七二二號」ノ誤

○本日軍極秘海軍公報第四一號(乙配付)發行セリ  
配付先

各司令部、各航空隊、各防備隊、各通信隊

0374